

2017年10月号

特集：「いま、データセンタが熱い！」

光通信システムおよび送受信器の研究開発は、長距離大容量における空間分割多重伝送技術・光ファイバ関連部品と平行して、データセンタ内・データセンタ間のネットワークの新しい構成、高速・低消費電力の光送受信器、国際標準化の動きがホットトピックスである。Google、Facebook、Microsoft、Appleなどのハイパージャイアントと呼ばれる事業者の運営するデータセンタで扱うインターネット・トラフィック量が全世界の30%に至る中、データセンタ内でやり取りされるトラフィックがその80%程度を占める状況のためである。主要国際会議で取り上げられるセッションやシンポジウムの話題としてもしばらくその傾向は変わらないと予測される。

そこで本企画では、データセンタに関わるネットワークの構成、高速・低消費電力化に向けて開発の進む光送受信器の動向、国際標準化の情報を取り上げ、今後のネットワークに関する将来の方向性を感じ取ることを目的とする。

No.	タイトル	執筆者
1	特集のポイント	OplusE編集部
2	データセンタ内ネットワーク構成の研究開発動向	大阪大
3	大規模データセンタ向け光スイッチングシステム	名古屋大
4	400G級イーサネット光送受信器の研究開発動向	住友電工
5	VCSELを用いた高密度光インターコネクタ技術：広帯域光エンジン	古河電工
6	小型・高速・低消費電力を目指すシリコンフォトニクス光送受信器 (光I/Oコア)	PETRA
7	高速光トランシーバの国際標準化動向	富士通オプティカルコンポーネント

※特集予定は都合により変更になる場合があります。詳細は営業担当にお尋ねください。

発行日：2017年9月25日  
 申込締切：2017年8月25日  
 原稿締切：2017年8月29日